

市民のために、市民と共に
市民参加の新しい三沢の創造



太田博之

Profile

1961. 3. 31生 (46歳) 三沢市生まれ

市立岡三沢小学校→市立第一中学校→県立三沢高等学校→駒澤大学法学部(二部)中退
→平成17年4月より中央大学法学部(通信課)正科生

平成16年3月三沢市議会議員選挙にて初当選 無所属

現職 青森県立三沢航空科学館指定管理者 NPO法人テイクオフみさわ理事長
(仮)アメリカ村拠点施設MGプラザ事業主 MGインターナショナル(株)専務取締役
三沢市商工会 理事(飲食衛生部会長) (財)三沢地区交通安全協会 副会長 他

お
お
た
博^{ひろ}
之^{ゆき}

討議資料

未来からの風を受け・・・

「政策力とおもいやりのある議員でいたい」

「お願い」から「約束」へ

今でも選挙公約として、例えば「地域経済を活性化します」とか「福祉を充実させます」というあいまいな言葉が使われてきましたが、全く実行力がありませんでした。

北海道で夕張市が倒産しました。自分達の住む「まち」がつぶれるという現実には、もう他人ごとではありません。「マニフェスト」とは、もともとラテン語で「明示する」という意味。数値目標や具体的な方策を示して本当に実行するための実現可能な具体的政策のことです。

私は、「ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟」に加入し、これまで早稲田大学大学院教授、北川正恭（元三重県知事）のご指導のもと、マニフェストについて議論を深め、政策を軸とした議会活動へと発展させるべく、勉強させて頂きました。

この「マニフェスト」は、4年間で確実に実行するため、私がいま最優先で取り組まなければならない課題を書きました。

太田博之 マニフェスト next2012

7つの視点から取り組みます！！

育み

子どもたちは社会の宝。
健やかな育ち・育みを応援します。

重点目標

・(仮) アメリカ村に子育て支援の拠点施設として、「子育てサークル」を開設します。

提案する条例

三沢市子育て支援条例

学び

学校は社会の入り口。
期待に応えられる教育に再生します。

重点目標

- ・食育を進め、五産の安全でおいしい給食を子供たちが味わえるようにします。
- ・家庭や地域と協働し経営する新たな学校づくりを進めます。
- ・深刻ないじめ・不登校・児童虐待の根絶をめざします。

提案する条例

三沢市地産地消推進条例



安の

必ず来る災害。安全・安心のため
防災・減災力を向上します。

重点目標

- ・いざ、に備えて支援の手を差し伸べられる、災害ボランティアを2倍に増やします。
- ・消防団員のスキルアップと増員を図り、充足率100%を目指します。

提案する条例

三沢市歩きたばこ、
ゴミのポイ捨て禁止条例

環の

かけがえのない地球。
環境づくりで発展と保全を調和します。

重点目標

- ・歩きたばこやゴミのポイ捨ての禁止をマナーからルールにします。
- ・基地による騒音対策が形骸化する中、新たな住民参加の基地対策のしくみを確立させます。

働き

チャンスは希望の源泉。
生きがいある多様な場を創ります。

重点目標

- ・(仮) アメリカ村整備事業で、若者100名以上の雇用を目指します。
- ・シニア世代の経験やノウハウを活かす「地域シニア活用プラン」をつくります。
- ・観光施設を結ぶ二次交通体系の確立を目指します。

議の

住民から預かった立場。
その負託に応える議会改革を進めます。

重点目標

- ・議会のあり方や責任を明確に位置づけます。
- ・市民の声を届ける為、委員会の所属のあり方や定数を見直します。
- ・年最低一本の議員提案による条例を制定いたします。
- ・議会費(報酬削減や議員定数削減など)の見直しを行います。

提案する条例

三沢市議会基本条例

公の

お役所仕事なくす。
信頼性と機能性の高い行政へと導きます。

重点目標

- ・談合や不正を根絶やしにし、事業をさらに効果的にする入札制度を定着させます。
- ・行政評価システムを市民の目線に、より判りやすく公表するようにします。



太田博之後援会 入会しよう

連絡先／三沢市東岡三沢1-79-4
TEL.53-1503 FAX.53-9167